

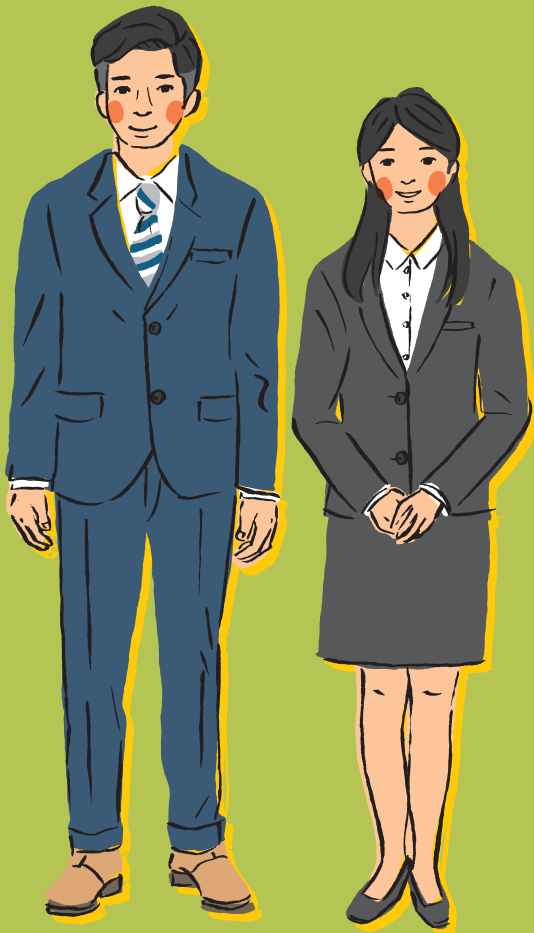


アインググループ

www.iing.co.jp

大切にしたい
人がいます。

それは、キミ。



社員幸福、 という経営戦略。

「身体の調子はどうだ」「ちゃんと休めているか」

当社の代表は、社員をみかけると必ずこのような言葉をかけます。

従業員数が10,000人以上になっても、それは変わることがありません。

アインググループが企業として宣言しているのは「^{いたわり}労りの気持ち」です。

自分の周りだけではなく、他部門への興味関心を持ち続けることで

「愛」のある職場を創造していく。

社員を守ることは、甘やかすことではありません。

信頼関係を築くこと、そう私たちは考えます。

仲間がいる。だからこそ、勇気をもって挑戦できる。

他者を思う気持ちがあれば、

みんなの力をひとつにして、

不可能と思えることさえ実現できる力になります。

どんなときでも、社員を全力で思い、守る。

そのために、会社を強くしたい。

きれいごとではなく、経営戦略として社員を幸せにする。

その覚悟で、みなさんと一緒に働きたいと考えるアインググループです。

幸福の必須条件って、 お金よりも健康じゃないかな。

わたしたちは商業施設やオフィスビルなどの設備点検、警備、清掃などのビルメンテナンス事業を中心に展開しています。いわば、建物の健康を守る仕事。そして、建物の調子以上に、あなたの体調も大切にしたい企業です。

当社に入社すると、“健康心得”という冊子が配られます。禁煙を推奨し、本社の喫煙者はゼロです。健康増進を目的としたストレッチ研修の実施、健康にいいと評判の水出し緑茶や免疫とお茶の研究を行う研究施設を備えています。また、歯の治療ができるアイングデンタルの設置だけでなく、アイングクリニックの定期検診によってこれまで喘息が判明した社員や、初期がんの早期発見・早期治療につながった社員も複数いました。

健康であること。それが、幸福の土台となるのではないのでしょうか。元気に働き続けられるからこそ、建物や周囲の人や家族も元気にできると思うのです。なによりも人を第一に大切にしたい。この考えは、『I(愛)』+『ing(し続ける)』=「I ing(アイング)」という企業名にも込められています。



グループ企業より大所帯というほうが、 ウチには似合っているかも。

アインググループの従業員数は約10,000人以上。人数が多いと、会長や経営陣は自分のことなんて気にするはずがない。もしそう思っているならば、それは誤解です。

現場にやって来て、「調子はどう?」「朝早いけれど大丈夫?」そうスタッフに声を掛ける人が会長だった、執行役員だった。そんなことが少なくありません。「現場では、まず従業員の顔をきちんと見る」。それが、マネジャー以上のなかで大切にしていることです。困った顔をしていたら、すかさず声をかけて心のつかえをとり、気持ちよく仕事に集中してもらうためです。

仕事で悩んでいたら、全く違う部署の先輩から「大丈夫?」と声を掛けてもらったと話す社員がいました。新人時代、研修の4日間しか会っていない部長に電話をすると「矢澤かー!元気にしてたか?」と名前を覚えてくれていたと話す社員もいました。

どれほど人数が増えても、同じ仲間であることには変わりません。アインググループの人と人の距離は、顔が見える距離です。



ホスピタリティって、 背中を見せる教育では 教えられません。

ギブ&ギブ。人の信頼は勝ち取るものでも、奪い取るものでもなく、貢献することで返ってくるもの。そう考えます。サービス提供だけでなく、マネジメントや教育も、まず社員を愛することから私たちは始めます。愛情がこもっているからこそ感動サービスを届けられるからです。

先輩の働く姿を見て、マネして自分のものにしていくことは大切。でも、それだけでは教えられる「おもてなしの心」があるからこそ、私たちは、背中を見せるのではなく、しっかりと社員一人ひとりと向き合い、目を見て、丁寧に教えられる研修の場を多数設けています。清掃・警備・設備などの実技面においても新木場研修センターでしっかりと身につけることが可能です。

教育の場は、研修だけではなくありません。各現場には、その道何十年というプロフェッショナルな先輩がたくさんいます。もし入社した際は、いろんな先輩に話かけてみてください。一人ひとりの違う考え方に触れ、多種多様な経験談を知ることで、世界がぐっと広がるはずです。



年商1,000億円を目指す
アインググループは、
社員が困っていたら、
腕まくりで現場に駆けつける
経営陣がいる企業です。



不況に強い経営基盤で、 おもてなしの質をあげていこう。

企業の信頼性を評価する数値に、「与信管理」というものがあります。100点満点で点数をつけられ、当社は70点超の評点。これは、日本企業全体の上位約25%に属する点数です。主力事業であるビルメンテナンス業界で区切れれば、業界トップ水準となります。

アインググループは、1,000億円企業を目指して進化を続けている真っ最中です。売上も10年前から5倍近く伸びています。100年に1度の不況と呼ばれた「リーマンショック」が起こった年も、売上が落ちるところかむしろ伸ばすことができました。

経営の安全性や売上の伸びを誇りたいわけではありません。こうした黒字経営体質は、社員に心理的な安心をもたらします。心理的な安心は、サービス品質の向上につながります。清掃なら、美しさにまでこだわる。設備点検なら、小さな異常も見逃さない。警備なら、怖い顔ではなく、笑顔で安心を届ける。事業企画なら、思いきった挑戦をする。社員がいきいきと働ける不況に強い経営基盤が、自慢です。

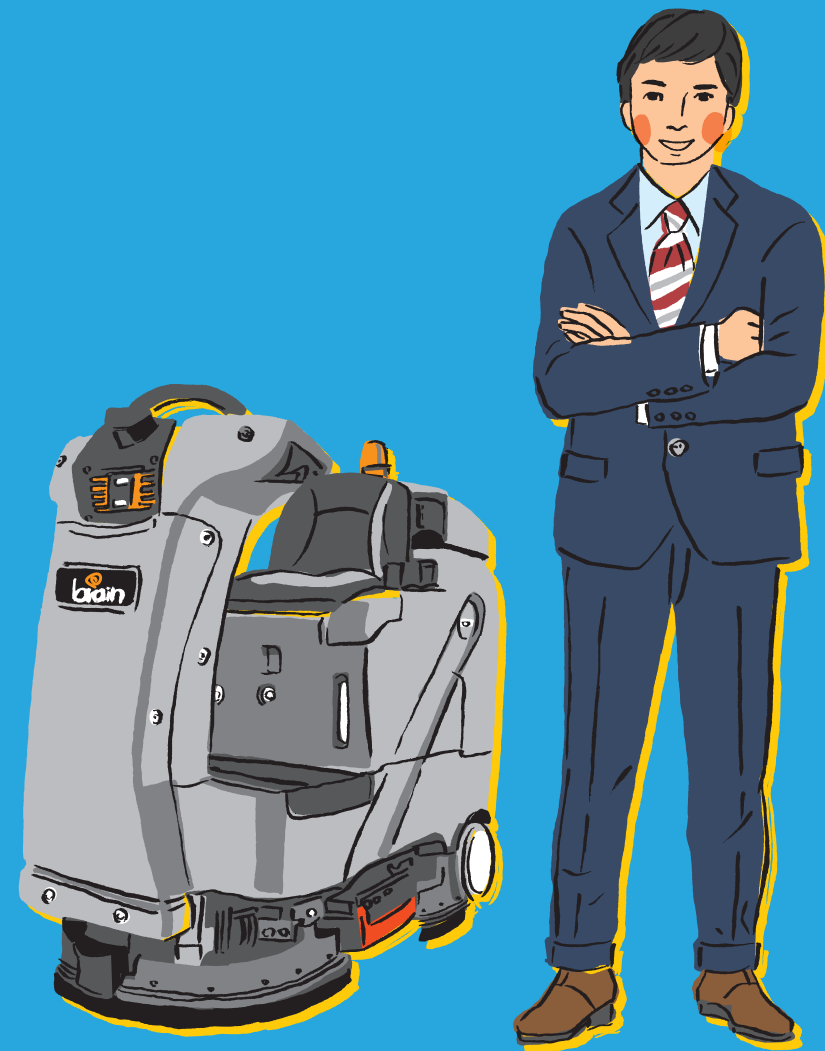


未来が、AIやIoTの時代なら。 その未来、当社でもう始まっています。

これまで人間が担っていた業務をAIやIoT機器に任せることで、人がより創造的な仕事に集中できる環境をつくる。そんな挑戦が始まっています。

清掃では、最先端の床面自動洗浄ロボットを先行導入しました。清掃ルートを記憶させれば自律走行するこの清掃ロボットは、すでに数多く現場で活躍しています。また、警備サービスにもIoT機器やロボットの導入を積極的に進めていく方針です。将来、スマートグラスを掛けた設備スタッフが见ている現場風景を、離れた場所にいる専門技術者とリアルタイムで情報共有し、指示を受ける。そんな世界も、もうすぐやってくるかもしれません。

「ビルメンテナンスサービスに使えるAIやロボットを開発したいから、ビル管理のプロの意見を聞かせてほしい」という相談を、ときどきIT企業やメーカーからいただきます。現場主義、自前主義を貫き、ビルメンテナンスの大量のノウハウを持っているという武器を活かし、今後も次世代テクノロジーを活かしたサービス展開を開発、推進していきます。



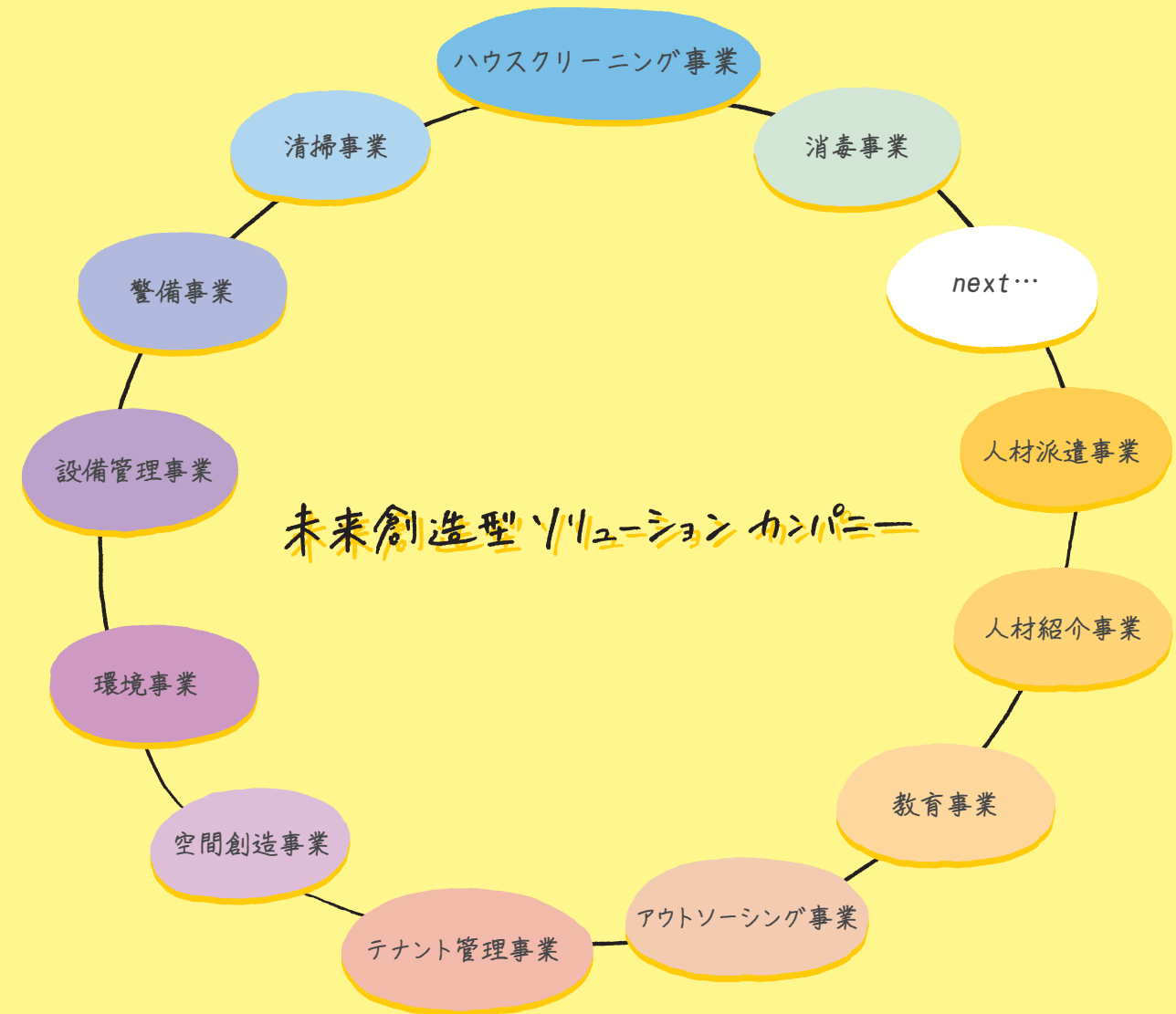
ビルメンテナンス企業？

いいえ、目指しているのは 未来創造型の ソリューションカンパニーです。

ビルメンテナンス企業は数多くありますが、設備の維持管理、清掃、警備を1社で提供できる企業は多くありません。他にも、商業施設内にあるインフォメーション(案内業務)人材の派遣や、オフィスやテナントの内装デザイン・設計、接客サービスの教育研修など、お客さまと協力しながら、顧客課題の解決策をともに創る“未来創造型のソリューションカンパニー”を目指しています。

グループにはソリューション営業部という組織があり、未来志向の新しいビルマネジメント事業を構築しています。お客さまと共に考え、問題解決のための提案をおこなう。その延長線上に新しいビジネスモデルやビジネス機会が生まれると考えています。

「建物のことで、困ったことがあればアイングへ」。ビルメンテナンスという枠を超え、あらゆる課題を解決する未来創造型のソリューションカンパニーとして成長するために、今後も新しいビジネスに挑戦する予定です。みなさんなら、建物の「困った」を解決するために、どんなサービスをつくるでしょうか。将来的には、新しいビジネスも一緒に考えていければと思っています。



力は誇るためではなく、
合わせるためにある。
1,000 億円企業へも、
みんなとならきつと届く。

既存事業やAIやIoT 機器導入の推進、そして新規事業への挑戦。これまでのアインググループを超え続け、さらなる顧客満足の実現から頂戴した対価を、社員幸福に投資していく。この好循環で目指すのは1,000 億円企業です。ひとりでは決して到底達成できない目標かもしれませんが、アインググループ全社員で力を合わせればきつと届くはず。チームワークには、人の想像を超える力があることを私たちは知っています。だからこそ、ひとりでも多くの仲間と幸せな関係を結びたいと思っています。

